

1 令和6年度事業実施の状況

(1) 経営基盤の強化

① (維持管理費の削減)

下水道施設の計画的かつ効率的な維持管理のため、下水道本管及び宅内の排水設備の破損や誤接続等により発生する不明水の原因調査を実施し、異状が確認された管渠は、必要な修繕等を効果的に進め、汚水処理費の削減に努めている。

・不明水対策調査業務

小林北地先の汚水本管1,569m、取付管18箇所のTVカメラ調査を実施し、修繕が必要な不具合箇所を確認した。

今後は、順次、修繕等を進めていく。

また、滝野地先で、4箇所に流量計を設置し流量の変移を調査した結果、1箇所で雨天時の流量が通常時より50%以上増加している箇所を確認した。今後、TVカメラ調査等により不明水の原因特定を進めていく。

【TVカメラ調査】



【流量調査】 4箇所



(2) ライフラインの強靱化

① (老朽化対策の推進)

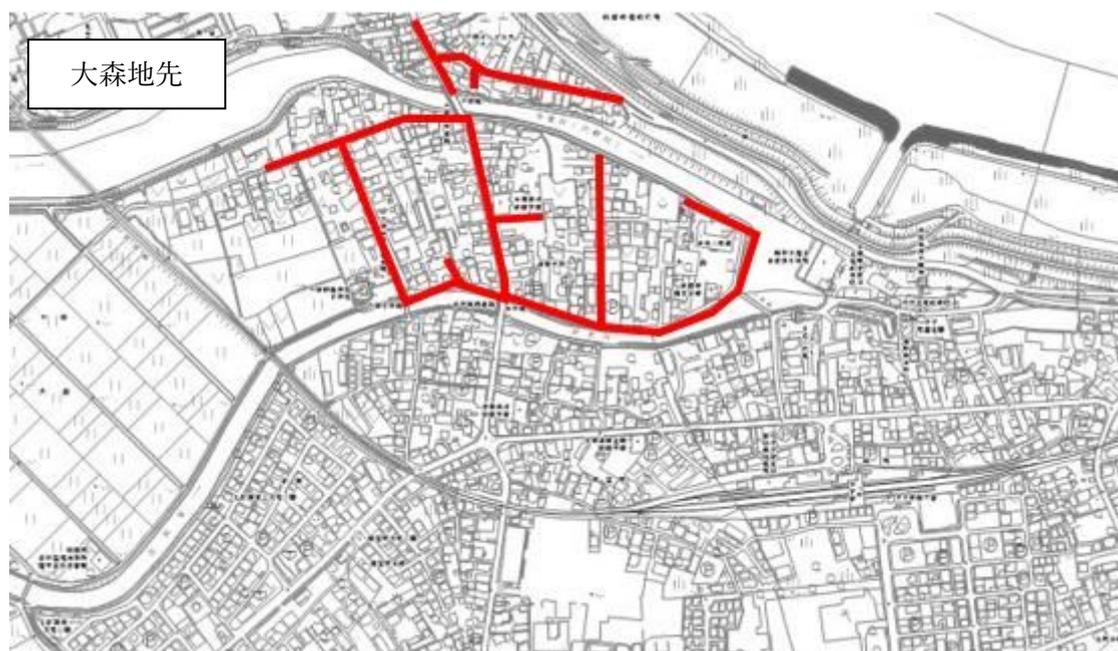
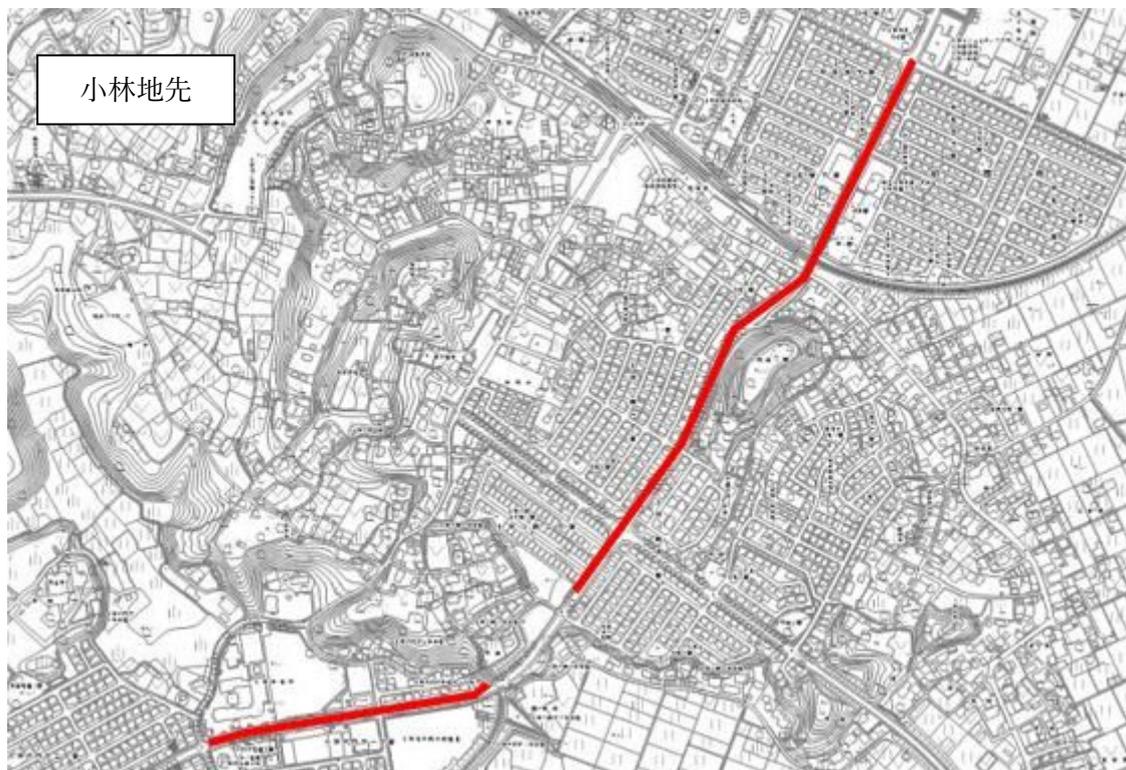
下水道施設の老朽対策として、令和元年度に策定した「ストックマネジメント計画（I期）」に基づき、令和2年度から令和6年度の計画期間において、施設の優先度等を考慮しつつ、点検・調査及び、修繕、改築工事を実施している。

また、令和6年度には、令和7年度から令和13年度を計画期間としたII期計画を策定し、令和7年度以降も引き続き老朽化対策事業を推進する。

・下水道管路施設調査業務委託

小林、大森、木刈地先の汚水本管、約10.7kmについて、TVカメラ調査等により管渠等の状況を確認し、健全度を判定した。この調査結果を基に対応の緊急度を定め、「ストックマネジメント計画」に基づき計画的に修繕等を進めていく。

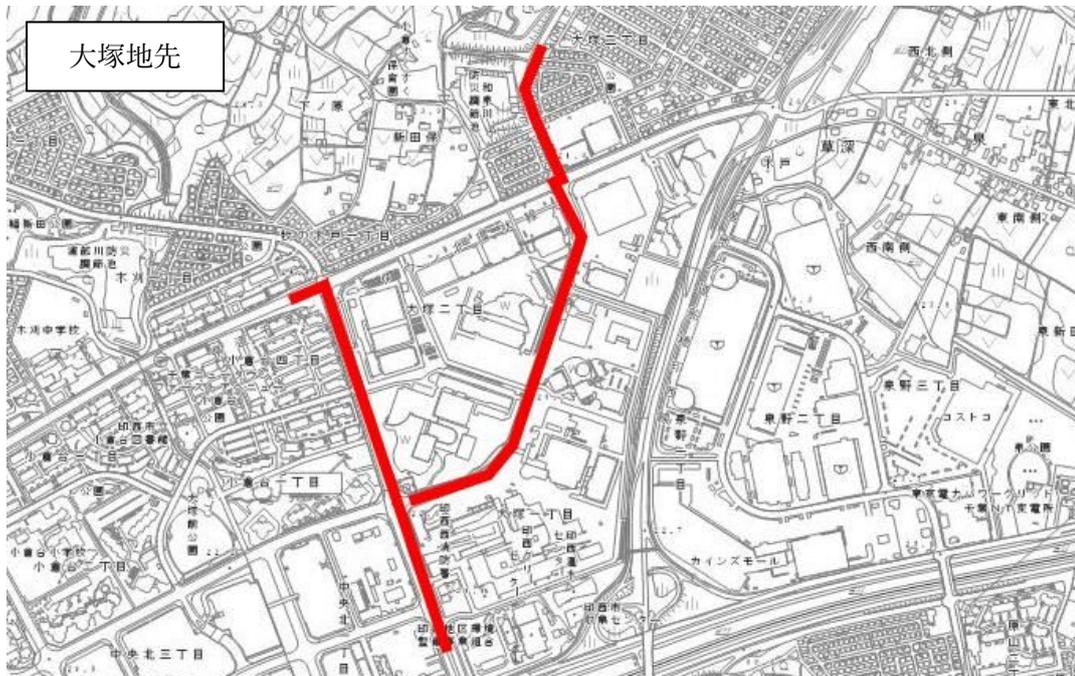
【TV カメラ調査】

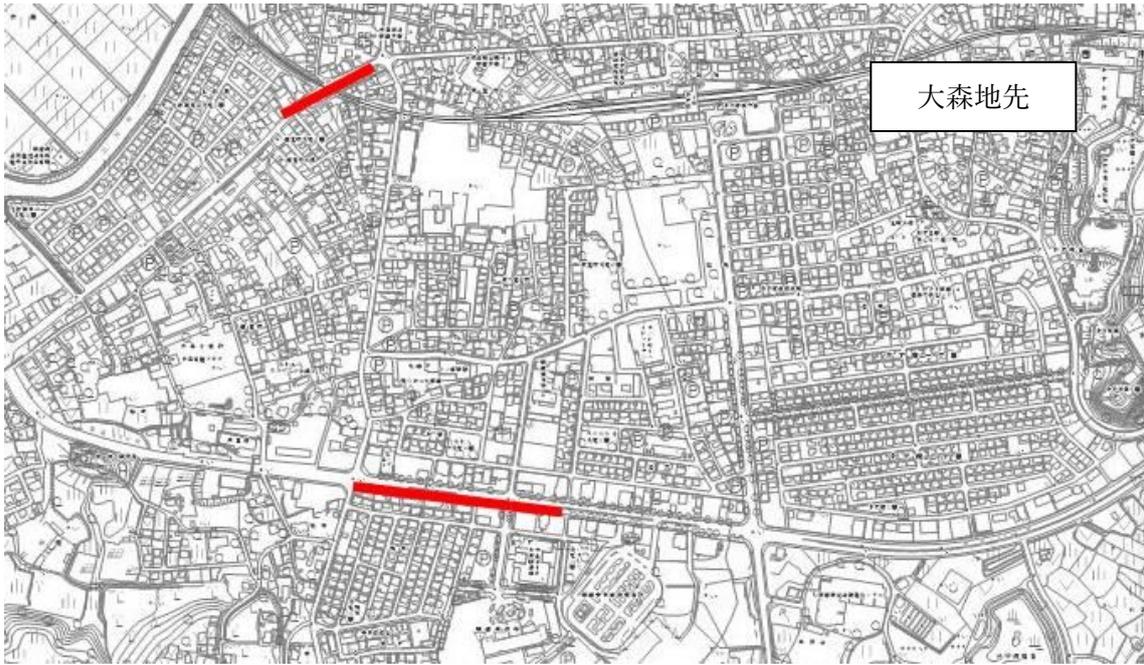




・マンホール蓋補修工事

大塚地先外において、耐用年数を経過し点検・調査により更新が必要なマンホール蓋69基について、蓋及び受枠の交換を実施した。





② 耐震対策の推進

令和元年度に策定した「下水道総合地震対策計画（Ⅱ期）」に基づき、令和2年度～令和6年度の計画期間において施設の耐震対策（管渠の耐震化、マンホールの管口可とう化、マンホールの浮上防止対策、指定避難所（小中学校）へのマンホールトイレの整備等）を実施している。

・管路施設改築工事

大森地先において、指定避難所からの排水流末及び緊急輸送用道路下の管渠、約252mについて、管更生工法による管渠の耐震化工事を実施した。



・マンホールトイレ整備工事

指定避難所として指定している小中学校30箇所のうち、公共下水道が整備されている小林中学校、高花小学校に災害時での使用を想定したマンホールトイレ10基（各5基）の整備を実施した。

